

≪最近の県内経済≫ (2025年9月を中心として)

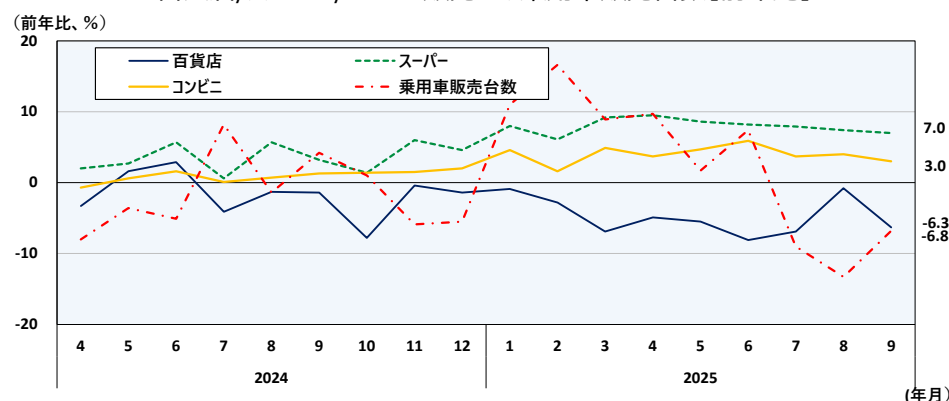
今月の概要

緩やかに持ち直している



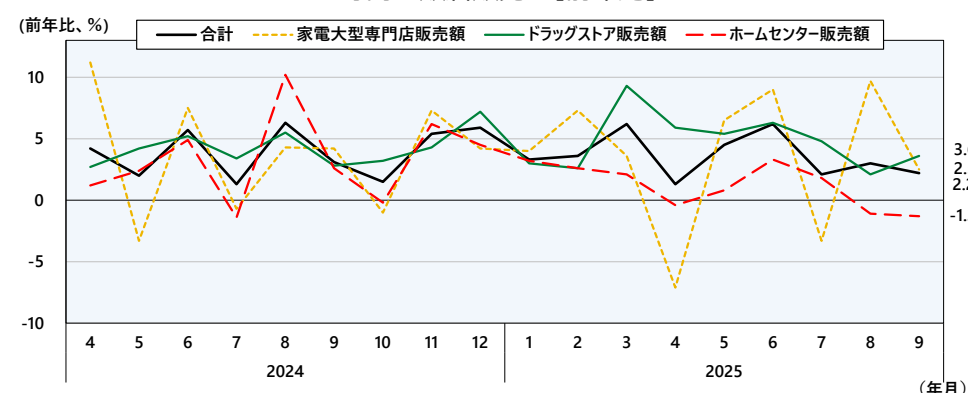
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

9月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は101億円で前年比6.3%減(15か月連続の減少)、スーパーは1,126億円で同7.0%の増加(36か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は586億円で同3.0%増加(17か月連続の増加)した。食料品は節約志向による買上点数の減少傾向が見られたが、単価上昇により販売額は伸長した。

また、乗用車販売は、前年比6.8%減と3か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同3.5%減(3か月連続の減少)、小型車が同22.8%減(3か月連続の減少)、軽自動車は同0.4%減(3か月連続の減少)となった。物価高騰や車両値上げによる購買意欲の低下の影響もあり販売が減少した。

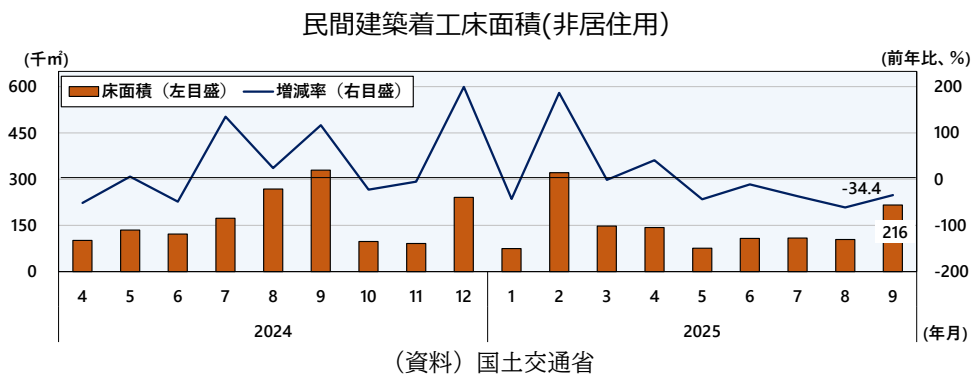
9月の専門量販店販売額は792億円で前年比2.2%増と36か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が180億円で同2.5%増(2か月連続の増加)、ドラッグストアが438億円で同3.6%増(40か月連続の増加)、ホームセンターが174億円で同1.3%減(2か月連続の減少)となった。

家電大型専門店では、買い替え需要が伸長したパソコン、残暑の影響を受けたエアコンなどの販売が増加した。

ホームセンターでは、昨年増加した防災用品の反動減の影響もあり2か月連続で前年割れした。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、8月<35.5>、9月<35.8>、10月<36.3>と推移している。

2 設備投資 ～持ち直している ➡



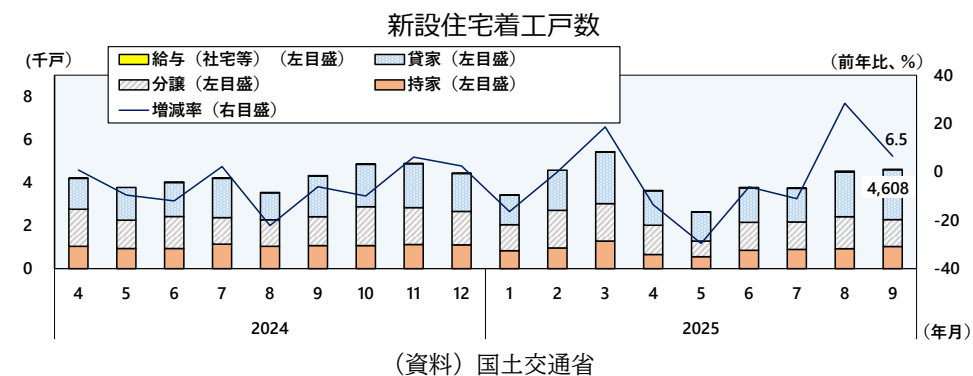
9月の民間建築着工床面積（非居住用）は、216千㎡で前年比34.4%減少した（5か月後方移動平均では、前年比40.3%減少）。用途別にみると、事務所、店舗は増加したものの、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



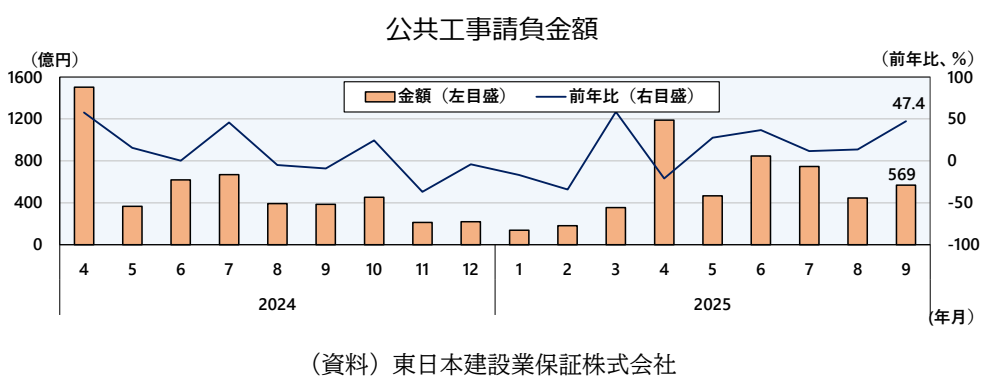
8月の資本財出荷指数（季節調整済）は104.4で、前月比10.9%減少した（5か月後方移動平均では、前年比11.3%減少）。当研究所が7～8月にかけて実施した県内企業の2025年度設備投資計画額は、前年度比3割程度の増加となっている。

3 住宅建設 ～弱含んでいる ➡



9月の新設住宅着工戸数は、4,608戸で前年比6.5%増加した（5か月後方移動平均では2.8%減）。利用関係別にみると、持家（1,026戸）が同4.1%減、分譲マンション（169戸）が同41.9%減、分譲一戸建て（1,024戸）が同1.2%減となったものの、貸家（2,321戸）が同22.5%増となった。

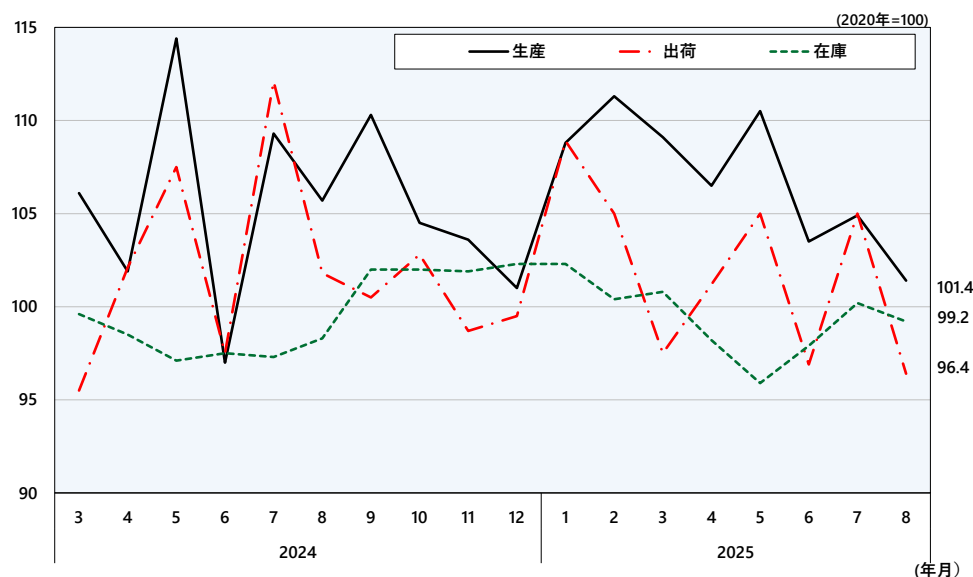
4 公共工事 ～底堅く推移している ➡



9月の公共工事請負額は569億円、前年比47.4%増加した。5か月後方移動平均でも前年比26.5%増で推移。発注者別の前年比をみると市区町村は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県、地方公社は増加した。

5 生産活動 ～一進一退 ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



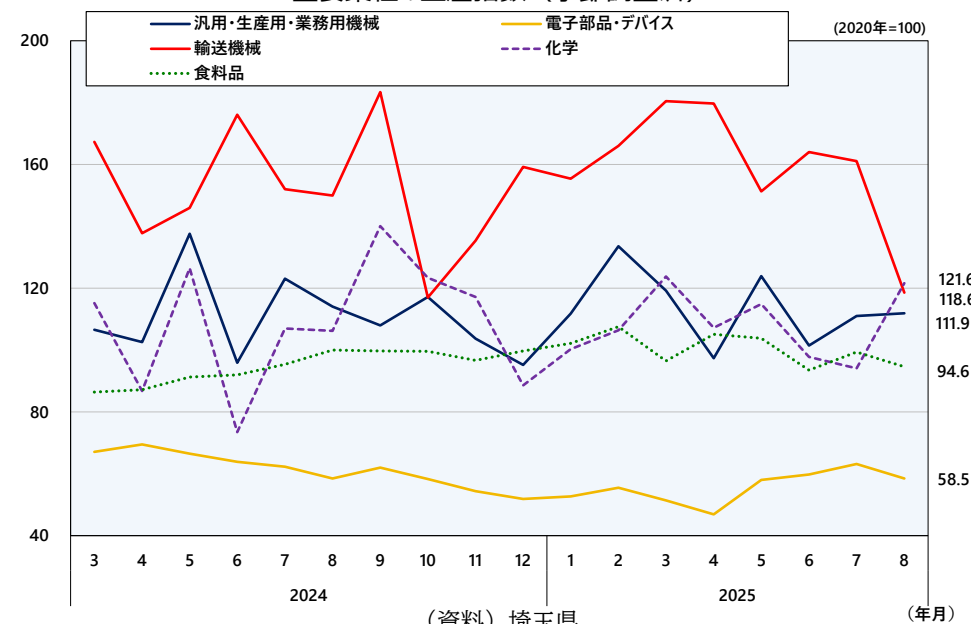
(資料) 埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.4で前月比3.3%低下(2か月ぶりの低下)した。化学(医薬品)、汎用機械(コンベヤ、空気圧機器)などが上昇したが、輸送機械(航空機用部品、乗用車)、食料品(チョコレート類、めん類)などが低下した。

出荷指数(同)は、96.4で同8.2%低下(2か月ぶりの低下)した。業務用機械(精密測定機)、汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)などが上昇したが、輸送機械(航空機用部品、乗用車)、化学(医薬品、化粧品)などが低下した。

在庫指数(同)は、99.2で同1.0%低下(3か月ぶりの低下)した。パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、雑板紙)、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、けん引車)、プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)などが低下した。

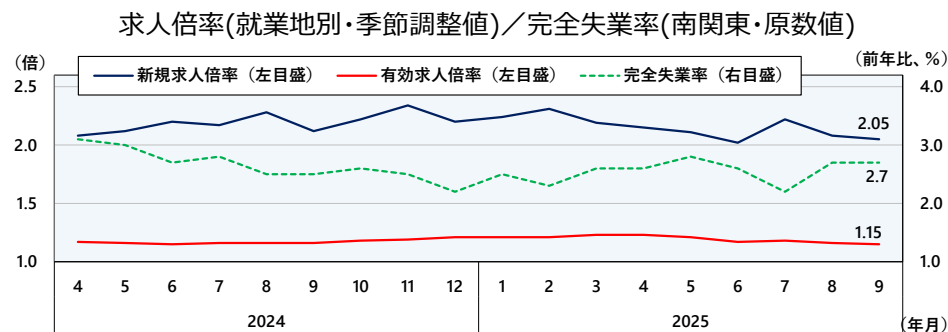
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、111.9で前月比0.8%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・電子部品・デバイス(同)は、58.5で同7.4%低下し、4か月ぶりの低下となった。
- ・輸送機械(同)は、118.6で同26.4%低下し、2か月連続の低下となった。
- ・化学(同)は、121.6で同29.2%増加し、3か月ぶりの上昇となった。
- ・食料品(同)は、94.6で同4.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。

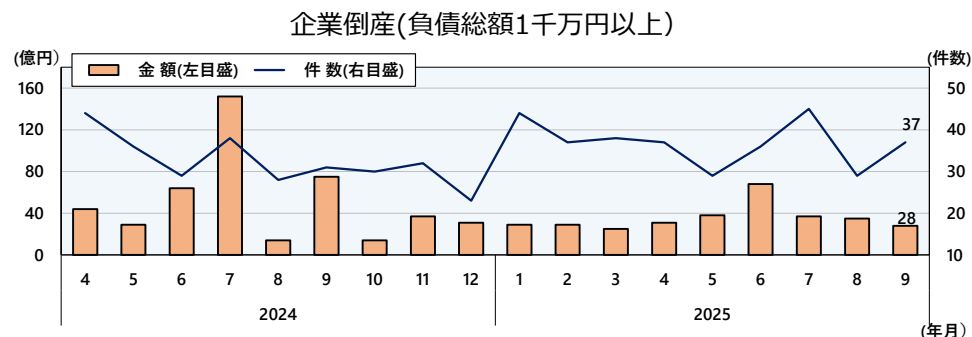
6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している ➡



(資料) 厚生労働省、総務省

9月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.15倍で前月比0.01 \downarrow 低下した。新規求人倍率(同)は、2.05倍で同比0.03 \downarrow 低下した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.2%上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

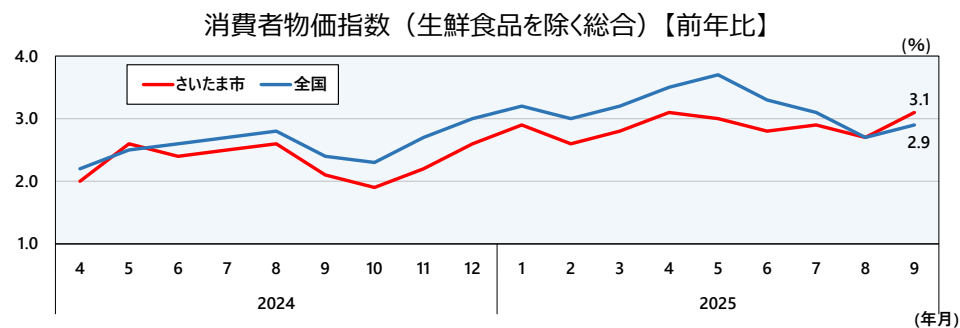
7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある ➡



(資料) 帝国データバンク

9月の企業倒産件数は37件で前年同月比6件増加した。また、負債総額は28億円で同比47億円減少した(5か月移動平均では、件数は前年比3件増加、負債総額は同25億円の減少)。
業種別にみると、小売業が最多で11件、次いで建設業が9件、卸売業が5件となっている。主因別では、販売不振が36件となっている。

8 消費者物価 ～緩やかに上昇している ➡

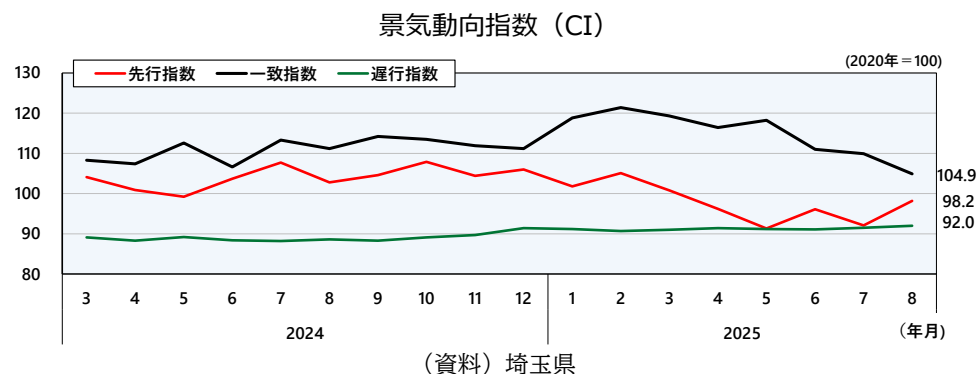


(資料) 総務省

9月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.5で前年同月比3.1%上昇した(48か月連続の前年同月比上昇)。

食料(穀類(うるち米など))、交通・通信(自動車等関係費(自動車整備費(パンク修理)など))などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～下方への局面変化を示している



(資料) 埼玉県

- 8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、104.9で前月比5.0 \downarrow 下降し、3か月連続の下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、98.2で同6.1 \uparrow 上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、92.0で同0.5 \uparrow 上昇し、2か月連続の上昇となった。